

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情 6 第 5 号	受理年月日	令和 6 年 2 月 6 日
件 名	目黒区長と目黒区教育委員会に対し、目黒区立目黒南中学校・目黒西中学校の新校舎建設工期の延長について、当事者である子どもと保護者、ならびに地域住民への説明を速やかに行うとともに、延長によって生じた損失と困惑への具体的な対応策を講じて、区政に対する住民の不信を解消することを求める陳情		
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>「学校設置条例の一部改定」が区議会で決定した直後に、審議の原案となった「新校舎の建設期間と新校舎への移転時期」が大きく延長されたことは、変更の通達をすれば済むというものではない。説明会・協議会・区議会への説明と承認を必要とするものとする。「みんなで話し合っただけ」ことの軽視があってはならない。誠意をもって対応することを求める。</p> <p>また、この延長は、当事者である子どもと保護者にとっては将来設計に関わる重大事であることを認識し、損失や困惑に対しては十分な補償を行うべきものである。</p> <p>なお、今回の延長が状況によっては再延長される可能性を持っていることから、「統合」の妥当性を検討し直すことも視野に入れるべきである。いつ新校舎が完成するのか未確定なまま仮校舎生活を子どもに強いるのはあまりに教育的でない。</p> <p>そのため、仮校舎期間の子どもの学校生活の充実に、予定を越えてでも財源確保するとともに、このような事態だからこそ、さまざまな準備をすべての子どもの声を聴き逃すことなく丁寧に進めることに努めてほしい。</p> <p>以上の理由から、次の 4 項目の陳情をする。</p> <p>【陳情事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子どもを含む住民に対し、3 年間に及ぶ説明会、協議会、区議会での審議の原案となった「計画」を変更した経緯の説明をすると共に今後の見通しを明らかにすること 2 当事者である子どもと保護者の生活への影響、将来設計の混乱等の実態を把握した上で、対応策を明らかにすること および、統合への準備を子どもの声を十分に聴き取って進めること 3 仮校舎期間も、統合によって得られたはずの学習環境の充実、施設の快適性、インクルーシブ教育の実現を図ること 4 仮校舎への通学負担の軽減を図ること 			